

I

■出題のねらい

学習指導要領第1～4章すべての範囲から、ユニバーサルデザイン、サイバー犯罪、2進数、コンピュータ内部の構造、情報通信ネットワークについての基本事項を問いました。2進数、コンピュータ内部の構造、情報通信ネットワークでは、図を用いた問いを出題しました。

■採点講評

- (1) (a) ユニバーサルデザインを問う問題に誤答が多い結果となりました。(b) サイバー犯罪についてできていませんでした。
- (2) 比較的できていました。
- (3) コンピュータの内部データの流れと制御の流れは比較的できており、ソフトウェアの処理の流れはよくできていました。
- (4) 電子メールの送受信の流れは比較的できていました。一方で、Web上でのお問い合わせはできていませんでした。

II

■出題のねらい

学習指導要領第2章コミュニケーションと情報デザイン、第3章モデル化とシミュレーションそれぞれの中問を出題しました。第2章コミュニケーションと情報デザインの問題では、会話文をもとに、インフォグラフィックスに関する問いを通して思考力を問う問題を出題しました。第3章モデル化とシミュレーションの問いでは、待ち行列に関する問いを通して思考力やグラフの読み取り力を問う問題を出題しました。

■採点講評

- A インフォグラフィックスに問う問題は比較的できていました。品種どうしの関係はよくできていた一方で、品種と栽培面積の関係は間違いが多く見られました。太郎さんと次郎さんの対話における問題は比較的できていました。
- B 待ち行列に関する表を埋める問題はよくできていました。待ち人数を答える問題やグラフから読み取る問題はあまりできていませんでした。

III

■出題のねらい

学習指導要領第3章プログラミングから、会話文をもとに、プログラムを作成していく流れを問いました。作成したプログラムに条件を付け足していき、より実用的な動作ができるプログラムに書き換える流れを問う形式で出題しました。

■採点講評

- (1) よくできていました。
- (2) よくできていました。
- (3) プログラムを改良した問題を問いましたが、あまりできていませんでした。

IV

■出題のねらい

学習指導要領第4章データの活用から、データの前処理、散布図の読み取り、棒グラフの読み取りに関する事項を問いました。多様なデータの可視化を用いてデータをあらゆる視点から分析する力を問う問題を出題しました。

■採点講評

- (1) よくできていました。
- (2) よくできていました。
- (3) よくできていました。
- (4) よくできていました。